



おすもうさんがやってきた

友綱部屋力士訪問

大相撲友綱部屋の力士が11月6日に立花幼稚園、9日に新宮東幼稚園を訪問しました。

最初は緊張して表情も硬かった園児たちですが、力士への質問コーナーや綱引きをするうちに、自然とたくさんの笑みが浮かんでいました。最後は力士と子どもたちによる相撲が行われ、力を合わせて大きな力士を寄り切ると、ひととき大きな歓声があがりました。短い時間でしたが、力士とふれあう思い出に残る交流となりました。



▲力を合わせて相撲をとりました
(新宮東幼稚園)



◀立花幼稚園の園児たちと

BFCがボランティア・スピリット賞「コミュニティ賞」を受賞！

アワード

新宮中学校相島分校



※ボランティア・スピリット賞…地域社会に貢献する青少年を応援しようと、ボランティア活動の支援を目的に世界各国で実施されているプログラム

相島少年消防クラブ(BFC)は、島の防災を目的に昭和23年に結成され、長年にわたり活動を行っています。現在は分校生徒8人で週4回の「火の用心」夜回り活動を中心に、「軽可搬ポンプ操法」および防災訓練などを行っています。

このボランティア活動が評価され、ボランティア・スピリット賞*を受賞しました。11月22日に鹿児島県で行われたブロック表彰式に招待され、学校代表として稲光実実菜さんが参加しました。表彰式ではBFCの活動紹介や他団体のリーダーとの交流を行い、今後の活動の励みとなりました。

銅メダル獲得！

第22回大刀洗町長杯
ひばりカップ争奪
少年野球大会

10月14日・21日・22日の3日間にわたり、第22回大刀洗町長杯ひばりカップ争奪少年野球大会が大刀洗町運動公園で開催されました。町体育協会所属の新宮ジュニアオーシャンズは40チームによるトーナメントを勝ち抜き、見事銅メダルを獲得しました。



▲賞状とトロフィーを持ってピースサイン！

白熱！ドッチビー

新宮町子ども会スポーツ交流会

11月19日に新宮中学校と新宮東小学校で、新宮町子ども会スポーツ交流会が開催されました。低学年キッズ部門31チーム(新宮中学校会場20チーム・新宮東小学校会場11チーム)、高学年ジュニア部門31チーム(新宮中学校会場19チーム・新宮東小学校会場12チーム)が出場し、約1,257人の参加者の白熱したプレーに会場は熱気で包まれました。

また、この交流会ではこの日のために一生懸命研修を積んだ子どもリーダー研修会のメンバーが審判や司会などの大会運営を行い、成功させました。大会結果は次のとおりです。(2か所での開催のため、それぞれ2チームの表彰となります。)

低学年キッズ部門		
会場 順位	新宮中学校 (20チーム)	新宮東小学校 (11チーム)
優勝	緑ヶ浜B	花立花
準優勝	緑ヶ浜C	湊
3位	杜の宮D	ファースト新宮
4位	中央駅前A	混成B [※]

※混成B(夜白1区(新宮小)、夜白4区、パークシティ)

高学年ジュニア部門		
会場 順位	新宮中学校 (19チーム)	新宮東小学校 (12チーム)
優勝	中央駅前A	ファースト新宮
準優勝	中央駅前C	混成A※
3位	緑ヶ浜A	花立花A
4位	夜白1区(東小)B	三代(東小)

※混成A(立花口、原上)



▲ラインを踏まずに、エイ！

◀練習の成果を発揮しました

語りの世界に耳を澄ませました

大人のためのおはなし会



▲山形弁で語るおはなし「歳(とし)」は、クスッと笑えました

11月16日、シーオーレ新宮で「大人のためのおはなし会」が開催されました。語り手は昨年8月に発足した「くすの木語りの会」のみなさんと、ロウソクの灯りのなかで日本や世界の民話・創作が語られました。聞き手は想像力を膨らませながら、先人たちの知恵・知識などのさまざまな文化に触れ、楽しいひとときを過ごしました。

◆「くすの木語りの会」

代表 西津記代さん(立花口)

ストーリーテリングは毎月第2土曜日午後2時から行っている「幼児向けおはなし会」でも聞くことができます。ぜひ図書館にお越しください。



力走でつかんだ切符で 元日を駆け抜ける！

ニューイヤー駅伝出場

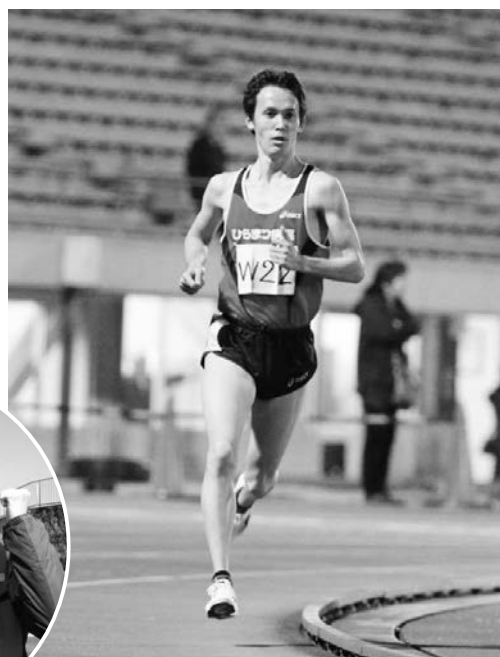
新宮町出身の陸上選手、中西拓郎さん(下府2)が、1月1日に行われる第62回全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)に出場します。

また、中西選手は11月19日に開催された第4回市町村対抗福岡駅伝に新宮町代表として出場し、第5区(5.0km)を14分16秒で駆け抜け、区間賞を獲得されました。

仕事と練習の両立で見事つかんだニューイヤー駅伝出場です。中西選手の力走を、新宮町みんなで応援しましょう。



▲がんばります



▲トラック上の中西選手

快走で3位入賞！！

第37回 ときめきスポーツ大会

9月9日に県内各地で第37回ときめきスポーツ大会が開催され、白熱した競技が繰り広げられました。

陸上男子4×100メートルリレーの部に新宮町代表として参加した塚本寛章さん(上府)はアンカーを務め、走者を一人抜き、見事3位入賞を果たしました。



▲メダルを片手に笑顔

役場に心温まる メールをいただきました



コミュニティバスに乗り通勤していた日のこと。私が乗車したときは座席が全て埋まっていました。バス停で女性が乗車すると、先頭の座席に座っていた新宮中学校の女子生徒がずっと立ち、席を譲ったのです。おそらく、妊婦さんだったのでしょうか。私が感心したのは、席を譲る優しさもさることながら、女子生徒の気配りです。朝の眠い時間にバスに座っているだけで安心していただける方がほとんどです。しかし、その女子生徒は女性客を妊婦の方と判断し、席を譲りました。このような行動が取れるのは、その子の資質でしょうが、このような素晴らしい資質を伸ばしてあげられたのは、ご両親の教育と学校教育にあると私は思っています。同じ世代の子を持つ私もこのような行動ができる子に育てあげたいものです。

※原文を一部修正しています。

女子生徒の勇気ある素敵なお行動も素晴らしいことです。女子生徒のよさをしっかりと見守り、教えていただいたことに重ねて感謝します。このような場面が満ちあふれるまち、「人が輝き、快適に暮らせる 元気なまち新宮」をこれからも一緒にめざしていきたいものです。

あたたかな灯りに包まれて…

たちばな竹灯籠まつり

11月23日・24日に Tachibana All Powers (TAP) 主催で、たちばな竹灯籠まつりが開催されました。日ごろから竹林整備などを行っている TAP のメンバーは、今回の竹灯籠まつりをこれまで以上のものにするため、先進地を視察するなど研究と試行錯誤を繰り返してきました。そして今回は TAP だけでなく、九州産業大学学生、地元有志など多くのみなさんの協力もあり、約6,000本の竹灯籠や大型の竹灯りを完成することができました。まつりでは竹灯籠に加え、立花幼稚園と立花小学校の子どもたちが思い思いのものを描いた竹ひごランタンも飾られ、かわいらしい絵と文字による優しい光に来場者は笑顔になっていました。

また、初の試みとして町内団体や九産大ゼミによる飲食ブースが設けられ、竹灯籠は集落内と2か所の会場で灯されました。立花口区全体があたたかな灯りに包まれた竹灯籠まつりとなりました。



▲たくさんの竹あかりが見られました

日本をオレンジ色に染める！

RUN伴+2017



▲タスキを届けます



▲まつり新宮でのタスキリレー▲



RUN伴(ランとも)は、認知症になっても安心して暮らしていけるまちづくりを目指してリレーでタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。7年目を迎える今回は、認知症サポーターカラーのオレンジ色のTシャツを着た認知症の人や家族、支援者、一般の人が7月に北海道をスタートし、11月3日のまつり新宮にタスキを届けました。グループホームしんぐうの入所者やスタッフ、在宅介護者こぶしの会の人たちが見守るなか、福津市のランナーから届けられたタスキを長崎町長が代表して受け取りました。11月4日には、グループホームしんぐう、グループホーム Ever 夜臼の入所者とスタッフなど総勢15人で、役場から福岡市の和白病院までタスキをつなぎました。

参加者は、晴天にめぐまれたなか無事にタスキをつないだことで、「認知症であってもなくても、お互いが知り合うことで、認知症について理解を深める良い機会になったと思います」と晴れやかに話していました。

タスキはその後、沖縄に無事に届けられ、今年は台湾までつながりました。世界でもこの活動が目目され、ますますオレンジ色が広がりを見せていくことが期待されています。